



2022年3月10日

各 位

会社名 株式会社東京楽天地
代表者名 取締役社長 浦井 敏之
(コード番号 8842 東証第1部)
問合せ先 常務取締役経営企画・経理担当 岡村 一
(TEL 03-3631-5195)

特別損益の計上および2022年1月期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年1月期において、特別損益の計上および個別業績実績値と前期実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

(1) 助成金等収入(連結)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置の適用を受けた雇用調整助成金等 195,540 千円を助成金等収入に計上いたしました。

(2) 投資有価証券売却益(連結)

当社グループは、純投資目的以外の投資株式(政策保有株式)の保有方針に基づき、保有する投資有価証券の一部(上場株式3銘柄)を売却したことに伴う売却益 20,333 千円を投資有価証券売却益に計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

(1) リニューアル関連撤去費用(連結)

当社グループは、東京楽天地浅草ビルリニューアル工事に係る固定資産の撤去費用として、135,854 千円をリニューアル関連撤去費用に計上いたしました。

(2) 臨時休業による損失(連結)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う政府による緊急事態宣言を受けて、娯楽サービス関連事業および飲食・販売事業に関連する施設において、一部の店舗を除いて臨時休業を実施いたしました。そのため、当該施設の臨時休業期間中の人件費・減価償却費等 79,646 千円を臨時休業による損失に計上いたしました。

(3) 減損損失(連結)

当社グループは、飲食・販売事業において、当初の投資回収見込みを下回ることとなった小売店1店舗(東京都台東区)について、58,574 千円を減損損失に計上いたしました。

3. 個別業績実績値と前期実績値との差異について

(1) 2022年1月期個別業績実績値と前期実績値との差異(2021年2月1日~2022年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2021年1月期実績 (A)	5,901	△90	9	△118	△19.89
2022年1月期実績 (B)	6,200	714	636	372	62.24
増 減 額 (B-A)	299	805	627	491	
増 減 率 (%)	5.1	-	-	-	

(2) 差異の理由

当事業年度におきましては、不動産賃貸事業において、東京楽天地浅草ビルの1階から3階がリニューアルオープンしたことや、映画興行事業において、当事業年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による臨時休業期間が前事業年度よりも短かったことに加え、「シン・エヴァンゲリオン劇場版」等の作品が好稼働いたしました。また、利益面では、前

事業年度における東京楽天地浅草ビルの除却見込みとなる固定資産の耐用年数を短縮したことに伴う減価償却費の増加の影響がなくなったことなどから、増収増益となりました。さらに、前事業年度における特別損失に計上した保有する賃貸ビル1棟の一部（東京都墨田区）に係る減損損失がなくなったことや、東京楽天地浅草ビルのリニューアル関連撤去費用が減少したことなどから、前事業年度実績と当事業年度実績との間に差異が生じています。

以 上